

定期試験の実施について

試験中に使用できるもの

- 筆記用具（メモ用紙は必要な人に配布）
- 演習室のコンピュータ一台（一つの机に一人の配置で、座る場所はどこでもよい）

試験中に参照できるもの

- 自分のホームディレクトリ（ホームフォルダ）以下に保存されているファイル
GitHub にアップされている講義資料、Cloud9 等で作成したプログラムはあらかじめ演習室の自身のマシンにダウンロードしておくこと。講義中に外部のサービスにアクセスすることは出来ない。

* 上記以外の情報を参照することはカンニング行為とする

（例：USB で接続された機器に保存されているファイルの参照など）

答案の提出

- 提出する全てのファイルの先頭に、コメントとして、自分の学科の出席番号と氏名を記入する
- 保存したファイルは次のように「report」コマンドで提出する
（ちゃんと提出できた場合は、「Succeed.」と画面に表示される）

```
$ ~ishigaki/report ouyou 「プログラムファイル」
```
- 複数のファイルを提出する場合は、report コマンドを分けて提出する
例えば、ouyou という提出先に対して、st14d00_test1.txt と st14d00_test2.txt のファイルを提出したい場合は、
次のように 2 回に分けて提出する

```
$ ~ishigaki/report ouyou st14d00_test1.txt
```

```
$ ~ishigaki/report ouyou st14d00_test2.txt
```
- 同じ問題に対して、複数の提出ファイルが存在した場合は、更新日時が新しい方を提出ファイルとする
- 「提出先」への提出は試験時のみ可能である